

PowerAttendant Standard Edition Windows 版 アップグレード手順書

本書は、PowerAttendant Standard Edition Windows 版(以下、PAS)の旧バージョンから Ver.2.3.0 へのアップグレード方法を説明した手順書です。

新規に Ver.2.3.0 をインストールする場合は、取扱説明書をご参照いただきインストールを行ってください。

お願い

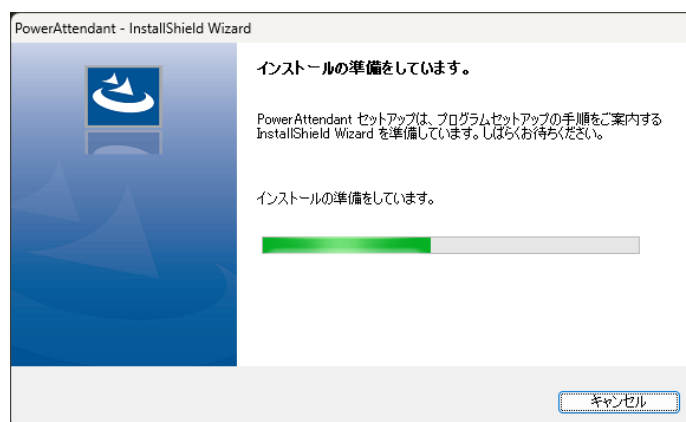
- ・ PAS Ver.2.3.0 では、Microsoft 社が提供している「.NET10.0」を使用します。本ソフトウェアをインストールする前に、「.NET10.0」を必ずインストールしてください。「.NET10.0」のインストール方法については、取扱説明書の「2-1-2 .NET10.0 のインストール」を参照してください。
- ・ PAS Ver.1.1.1 まで使用していた「.NET6.0」については、インストールしたままでも問題ありません。
- ・ PAS Ver.2.2.0 まで使用していた「.NET8.0」については、インストールしたままでも問題ありません。

参考

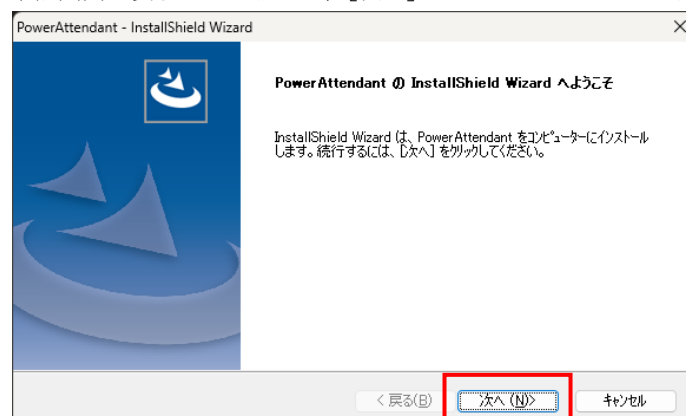
- ・ アップグレードを行っても設定情報は保存されています。
- ・ アップグレード後に PAS を起動すると、アップグレード前の設定情報にて PAS は起動します。

1. Ver.2.3.0 の「setup.exe」をダブルクリックします。インストールが開始されます。

2. 下記画面が表示されますので、しばらく待ちます。



3. 下記画面が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします



4. .NET10.0 のインストール状況が表示されます。

「ASP.NET Core ランタイム 10.0」と「.NET ランタイム 10.0」が「インストール済」と表示されている場合は、[次へ] ボタンをクリックして PAS のインストールを続けてください。

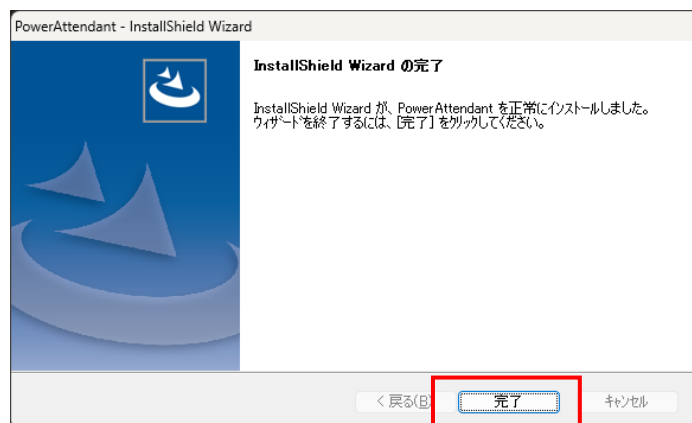
「未インストール」と表示されているものがある場合は、[キャンセル]ボタンをクリックして PAS のインストールを中止し、「未インストール」と表示されているものをインストールしてから、再度 PAS のインストールを行ってください。



5. 下記画面が表示されますので、しばらく待ちます。



6. アップグレードが終了したら下記画面が表示されますので、[完了] ボタンをクリックします。



7. Ver.2.2.0 以降では、PAS の画面を表示させる場合にログインを必要とする仕様に変更されています。

アップグレード後に PAS を起動すると、ログイン画面が表示されますので、ログイン ID とパスワードを入力してログインしてください。



8. PAS の画面の[ヘルプ] - [バージョン情報]にて、バージョンが Ver.2.3.0 になっていることを確認します。



以上で、PAS Ver.2.3.0 へのアップグレード作業は終了です。